

リパーゼ CAL-B による methyl 4-aryl-5-hydroxyhex-2-enoate の光学分割

[演題はゴシックフォント, 14 point] [演題と氏名の間は一行空ける]

(東邦大薬) ○藤井幹雄, 秋田弘幸

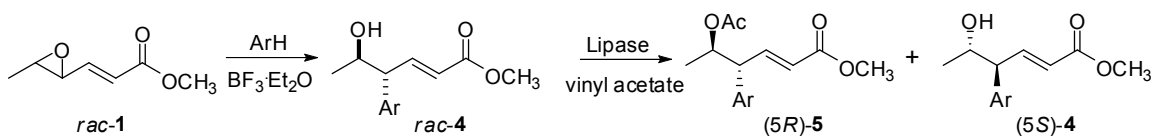
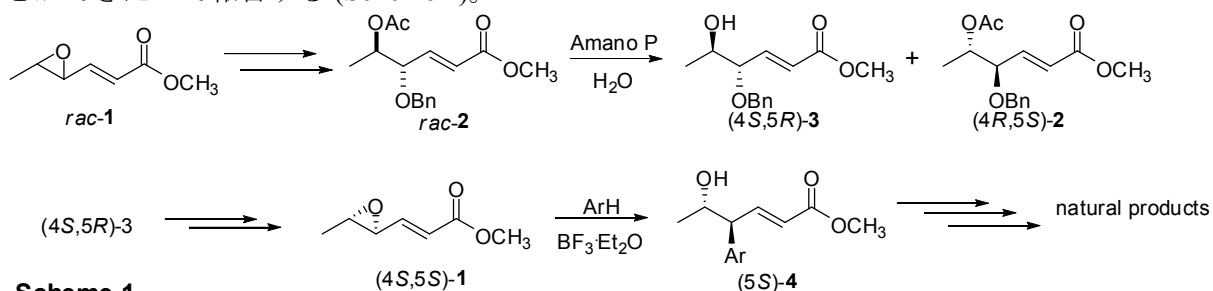
[演者に○, 明朝フォント(MS 明朝), 11 point][氏名と本文の間は一行空ける]

我々の研究室では光学活性なエポキシド **1** をキラルシントンとした天然物合成を行っている。すなわち, *rac-1* から得られる **2** をリパーゼ Amano P によって不斉加水分解し, (4*S*,5*R*)-**3** および(4*R*,5*S*)-**2** を得, 光学活性な **1** の両鏡像体を得られる(Scheme 1)。

[本文は明朝フォント(MS 明朝), 11 あるいは 10.5 point,

A4 一枚で作成, 余白: 上下 2.5 cm, 左右 2 cm]

(4*S*,5*R*)-**1** をルイス酸存在下, 芳香族化合物と反応させると位置および立体選択的に methyl (5*S*)-4-aryl-5-hydroxyhex-2-enoate ((5*S*)-**4**)が得られ, これを基にピサボラン型セスキテルペン類を合成している。今回,ラセミ体 **1** より得られる(*rac-4*)を直接光学分割することで (5*S*)-**4** を簡便に得ることができたので報告する (Scheme 2)。



まず, *rac-1* を